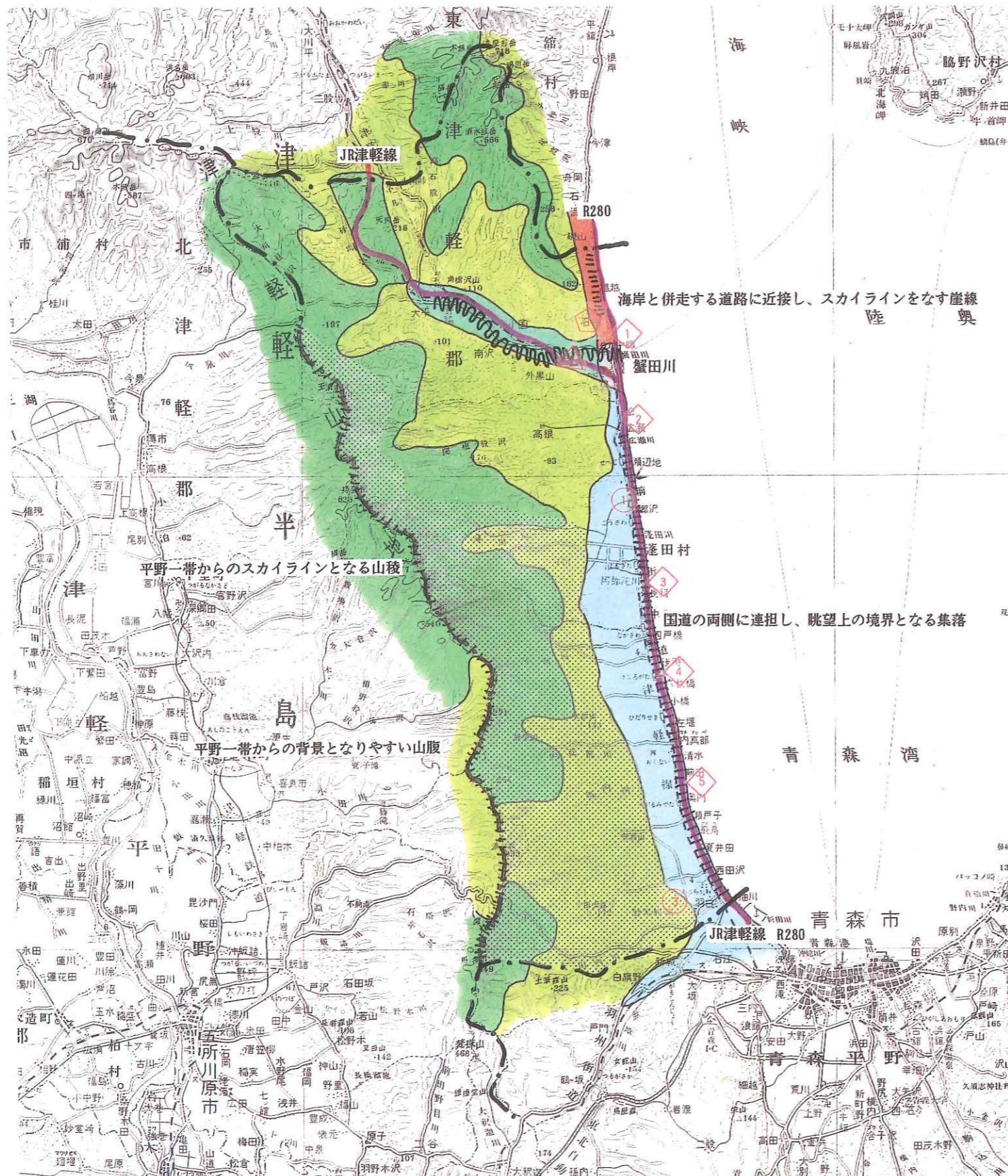


## 2) 津軽半島東部景域

### ① 景観特性図

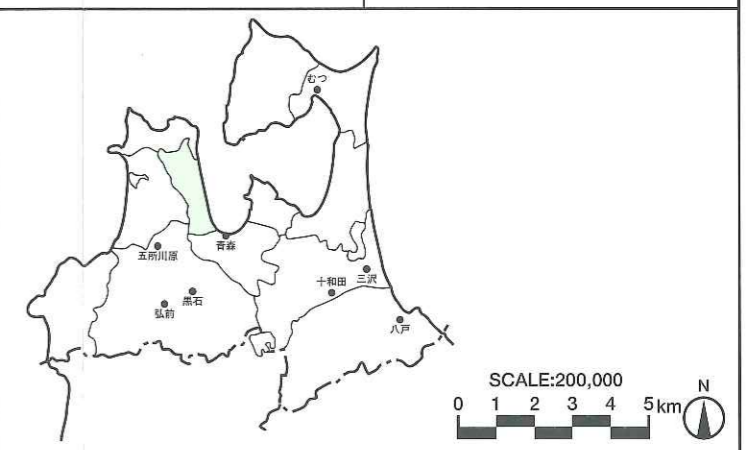


- 景域区分線
- 景観類型
- 山地景観
  - 低山景観
  - 谷底平野農村景観
  - 低地農村景観（水田型）
  - 市街地景観
  - 漁村景観

- 景観を特徴づける要素
- ランドマークとなる山岳（弧峰）
  - ランドマークとなる山岳（連峰・山群）
  - ランドマークとなる岬、島
  - スカイラインとなる支配線（山稜・崖線・その他）
  - 背景となりやすい領域（山腹等）
  - 明確な方向感を与える河川軸
  - 重要な視点場としての道路や鉄道
  - 面的なまとまりをもった個性ある領域

- 個別景観資源\*
- 眺望地点
  - 自然景観資源
  - 歴史・文化的資源
  - 生活・産業景観資源
  - 観光レクリエーション資源

\* 図中番号は「②景観配慮のための資源カタログ」に対応





### 【個別景観資源】

#### ■眺望地点リスト (◻)

1. 観覧山公園展望台

#### ■自然景観資源リスト (□)

該当なし

#### ■歴史・文化的資源リスト (△)

1. 一本松

#### ■生活・産業景観資源リスト (◇)

1. 蟹田漁港
2. 瀬辺地漁港
3. 蓬田漁港
4. 後潟漁港
5. 奥内漁港

#### ■観光・レクリエーション資源リスト (○)

1. 観覧山公園海水浴場
2. 玉松台海水浴場
3. 野木和公園

## 2) 津軽半島東部景域

### ② 景観配慮のための資源カタログ

- ・本景域での主要な景観資源のカタログを示す。
- ・各種行為を行う際には、以下に示す資源等を損傷したり、その印象を著しく損なったりすることのないよう配慮することが必要である。
- ・またこれらの特質を景観の形成テーマや素材、モチーフとして活かしていくことが望まれる。
- ・この資源カタログは、その際の景観保全・活用上配慮すべき、主要な対象を示したものである。
- ・なお、ここで扱う内容は以下の通り。

#### <個別景観資源> \*

景域内において広く一般に認知される景観資源について、以下の種別に区分し、記載している。なお、リストの番号は「①景観特性図」上のものと対応している。

\*：「92青森県観光要覧」（青森県）に特記されているものを中心に抽出した。

#### [眺望地点]

主に眺望を得ることを目的として整備されたいわゆる展望台等の施設。

#### [自然景観資源]

地形、水象、植物等の自然物によって構成されたすぐれた資源性を有する景観。

#### [歴史・文化的資源]

歴史的な建造物や史跡、あるいは祭事等の人間の歴史的、文化的活動によって生み出された有形・無形の景観。

#### [生活・産業景観資源]

すぐれた、あるいは特徴的な景観を伴う都市、農村、漁村等の生活空間や、ダム、工業地帯等の産業空間。

#### [観光・レクリエーション資源]

温泉、レジャーランド、博物展示施設等、非日常的な視点となりやすい施設地。

#### <その他景観を特徴づけるもの>

直接的、あるいは間接的に景観を構成すると考えられるものや、景域の持つ心象的イメージとして広く一般に認知されているもの。例えば気象、植生、民俗芸能、伝承、文学、絵画等。

### 【その他景観を特徴づけるもの】

#### ■自然的なもの

- ・平野を吹きぬける地吹雪
- ・夏季のやませ
- ・やませのもたらす塩分を含んだ雨
- ・青森のシンボルとなるヒバ林
- ・平館海峡越しに見える下北半島の鳥影

#### ■文化的なもの

- ・日本海航路における外ヶ浜の諸湊のひとつである蟹田
- ・山辺に点在する溜池
- ・イカ、カレイ、イワシ、タラ、アンコウ等の豊富な水産資源
- ・ほたて貝やのりの浅海養殖漁業
- ・海岸に連担する船小屋
- ・松前街道の面影を残す松並木

- ・「観覧山。（中略）青森湾の向こうに夏泊崎が見え、また平館海峡をへだてて下北半島が、すぐ間近に見えた。（中略）この蟹田あたりの海は、ひどく温和でそうして水の色も淡く、塩分も薄いようにに感ぜられ、磯の香りさえほのかである。ほとんどそれは湖水に似ている。」
- ・「蟹田は海岸の町であるが、また平野もあれば、山もある。」（以上 太宰治「津軽」）

I



①青森平野の水田  
 < 景観概要 > 水平基調で広がる青森平野の水田の景観  
 < 代表的な視点場 > 水田地帯の道路



②鎮守の森  
 < 景観概要 > 水田に島状に点在する鎮守の森  
 < 代表的な視点場 > 水田地帯の道路



③津軽山地の山稜  
 < 景観概要 > 平野からの緑の背景であり、水平基調のスカイラインとなる津軽山地の景観  
 < 代表的な視点場 > 水田地帯の道路

II



④青森湾に面した海岸線  
 < 景観概要 > 青森湾に臨む直線的な海岸の景観  
 < 代表的な視点場 > 漁港及び海岸全般



⑤街道沿いに連担する集落  
 < 景観概要 > 海岸線と併走する国道280号線沿いに連続し、眺望上の境界をなす集落の景観  
 < 代表的な視点場 > 国道280号線沿道

## 2) 津軽半島東部景域

### ③ 景 観 特 性 写 真

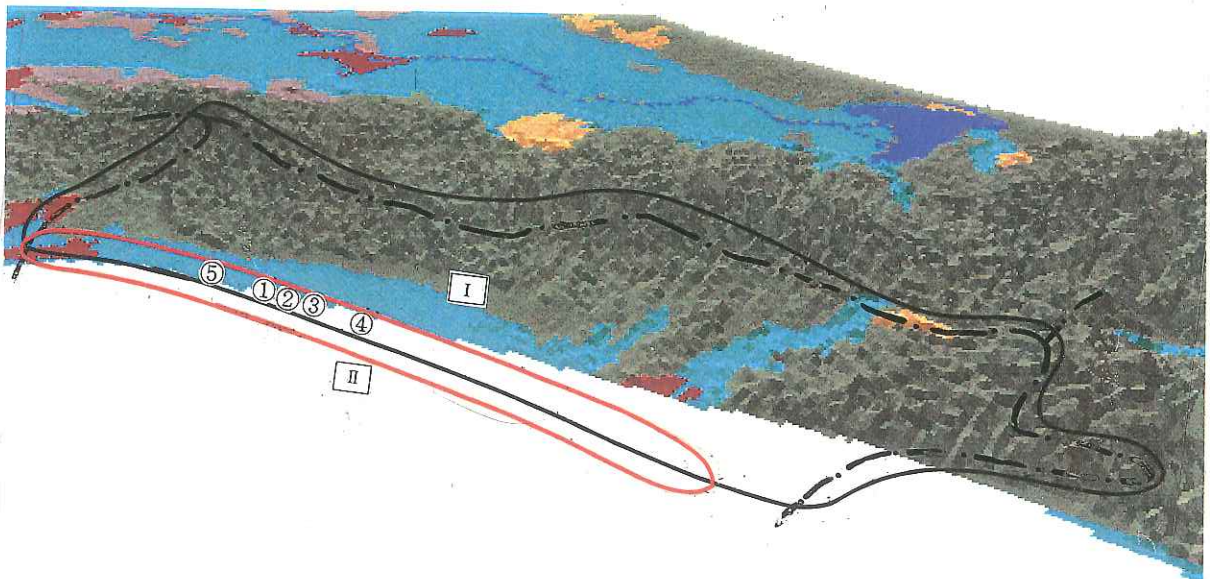
#### 【凡例】

— — — 景地区分線

① 概略写真撮影位置及び番号

● パース上の表現

市街地	牧草地
水田	水系
畑地	樹林
果樹園	



## 2) 津軽半島東部景域

### ④ 景観特性と配慮事項

#### ■景観概要

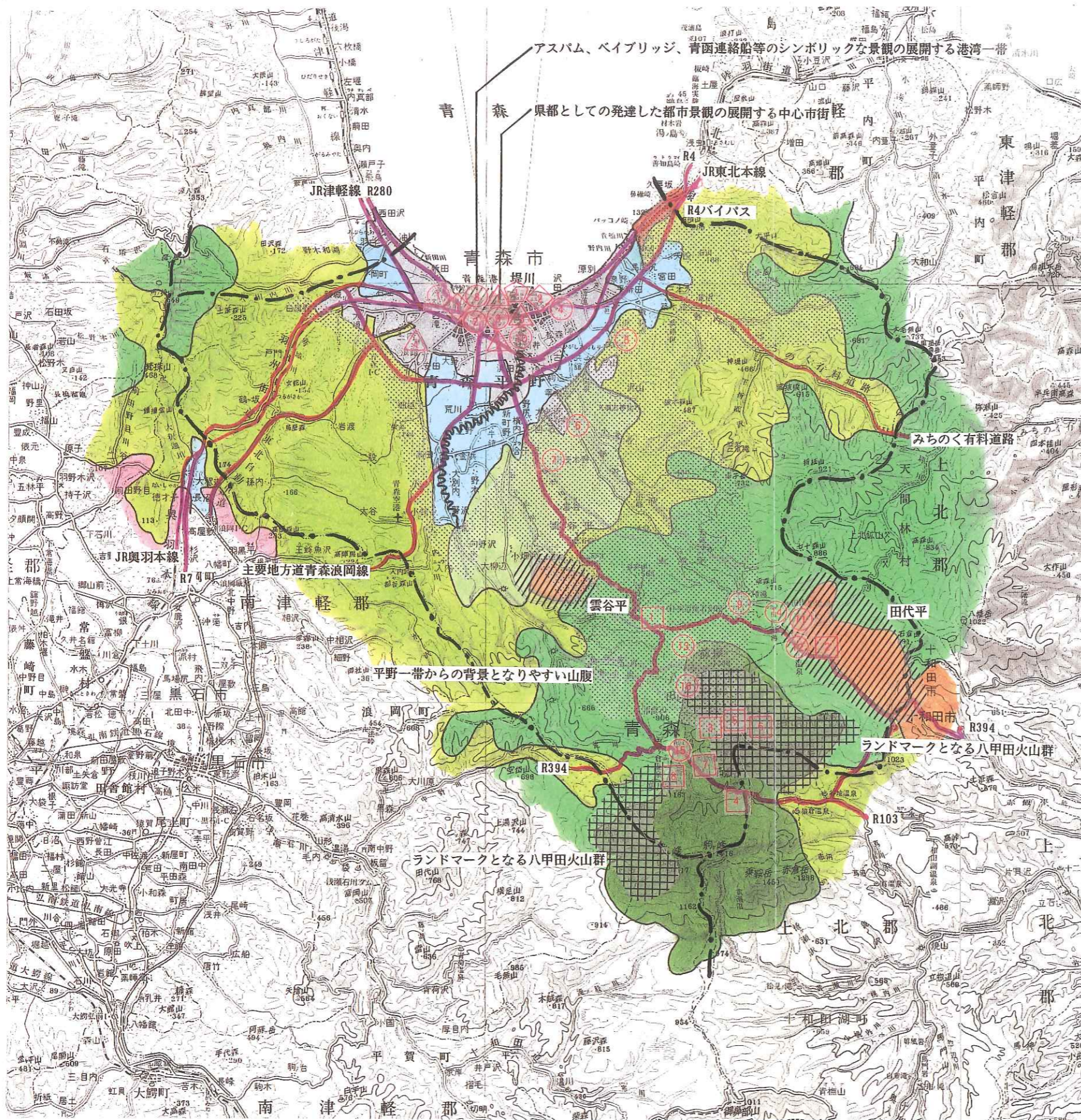
青森湾に臨む直線的な海岸線と平行に南北に水田地帯が広がり、その背後には津軽山地の山並みが連なっている。

#### ■景観特性と景観形成上の配慮事項

景 観 特 性	景 観 形 成 上 の 配 慮 事 項
<p><b>I</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景域東側の海岸沿いには、南北方向に広がる帯状の青森平野に単一の土地利用（大規模集約的な水田）が展開し、極めて水平基調の田園景観が形成されている。（→写真①）</li> <li>・また、平野には鎮守の森が点在し、小規模に突出する樹林が平坦な平野の眺望に変化を与えとともに、眺望上の目標となる。（→写真②）</li> <li>・平野の西側は、ゆるやかに起伏する津軽山地が低く連なり、景域の境界を形成しているほか、平野からの仰角の浅いスカイラインとして遠望される。（→写真③）</li> <li>・また、山地の標高350m以上のエリアは、概ねヒバを中心とした自然性高い樹林で被われており、すぐれた樹林景観が形成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田の広がる平野においては、その水平基調と単一の土地利用もたらす眺望を阻害しないよう、建築物・工作物の規模（高さ）、色彩等に配慮する。特に、点在し、眺望上の目標となる鎮守の森に対してオーバースケールとならないよう、建築物・工作物の面積や周辺部の修景緑化の実施等にも十分配慮する。</li> <li>・近年における農地景観の変化（休耕田の増加や、農道、用水等の無機質化）については、その影響の最小化に配慮する。</li> <li>・山地山腹においては、景域景観の骨格として、あるいは平野からの背景としての眺望を阻害しないよう、大規模な開発の位置（山稜線からのセットバック）、規模（開発地の分散化、最小化）等に配慮する。特に高標高地における良好な自然林との調和には、十分配慮する。</li> </ul>
<p><b>II</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平野の東側には、直線的な海岸線が連なり、青森湾に臨む、穏やかな眺望が広がる。（→写真④）ただし、海岸と併走する国道280号線の両側には高密度な農・漁村集落が形成されていることから、平野との視覚的連続性はほとんどない。（→写真⑤）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸部においては、その広がりのある眺望を阻害しないよう、建築物・工作物（特に漁港等港湾施設）の規模（高さ、海岸線からの位置）、色彩、素材等に配慮する。</li> <li>・海岸線と併走する国道沿道においては、海岸と内陸との連続性の感じられる景観的演出に配慮する。</li> </ul>

### 3) 青 森 景 域

#### ① 景 観 特 性 図



--- 景域区分線

■ 景観類型

- 高山景観
- 山地景観
- 低山景観
- 高原牧野景観
- 山麓農村景観
- 低地農村景観 (水田型)
- 市街地景観
- 漁村景観

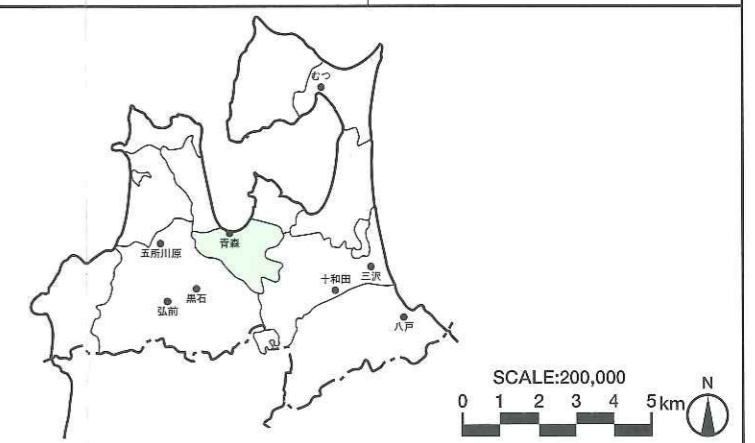
■ 景観を特徴づける要素

- ランドマークとなる山岳 (孤峰)
- ランドマークとなる山岳 (連峰・山群)
- ランドマークとなる岬、島
- スカイラインとなる支配線 (山稜・崖線・その他)
- 背景となりやすい領域 (山腹等)
- 明確な方向感を与える河川軸
- 重要な視点場としての道路や鉄道
- 面的なまとまりをもった個性ある領域

■ 個別景観資源\*

- 眺望地点
- 自然景観資源
- 歴史・文化的資源
- 生活・産業景観資源
- 観光レクリエーション資源

\* 図中番号は「②景観配慮のための資源カタログ」に対応







## 【個別景観資源】

### ■眺望地点リスト (◡)

1. アスパム

### ■自然景観資源リスト (□)

1. 萱野高原
2. 田代沼湿原
3. 田茂菴湿原
4. 南八甲田の湿原
5. 八甲田山の紅葉
6. 八甲田山の樹氷
7. 地獄沼
8. 城ヶ倉溪谷

### ■歴史・文化的資源リスト (△)

1. ねぶた祭り
2. 善知鳥神社
3. 青森冬まつり
4. 三内丸山遺跡

### ■生活・産業景観資源リスト (◇)

1. 青森駅前魚市場
2. 青森港

### ■観光・レクリエーション資源リスト (○)

1. 青森市森林博物館
2. アスパム
3. 青森県立郷土館
4. 合浦公園
5. 昭和大仏
6. 幸畑陸軍墓地
7. ねぶたの里
8. 八甲田丸
9. 雪中行軍銅像
10. 棟方志功記念館
11. 田代平温泉
12. 八甲田温泉
13. 寒水沢温泉
14. 田代湯元温泉
15. 酸ヶ湯温泉
16. 八甲田ロープウェイ

## 3) 青 森 景 域

### ② 景観配慮のための資源カタログ

- ・本景域での主要な景観資源のカタログを示す。
- ・各種行為を行う際には、以下に示す資源等を損傷したり、その印象を著しく損なったりすることのないよう配慮することが必要である。
- ・またこれらの特質を景観の形成テーマや素材、モチーフとして活かしていくことが望まれる。
- ・この資源カタログは、その際の景観保全・活用上配慮すべき、主要な対象を示したものである。
- ・なお、ここで扱う内容は以下の通り。

#### <個別景観資源> \*

景域内において広く一般に認知される景観資源について、以下の種別に区分し、記載している。なお、リストの番号は「①景観特性図」上のものと対応している。

\*：「92青森県観光要覧」（青森県）に特記されているものを中心に抽出した。

#### 【眺望地点】

主に眺望を得ることを目的として整備されたいわゆる展望台等の施設。

#### 【自然景観資源】

地形、水象、植物等の自然物によって構成されたすぐれた資源性を有する景観。

#### 【歴史・文化的資源】

歴史的な建造物や史跡、あるいは祭事等の人間の歴史的、文化的活動によって生み出された有形・無形の景観。

#### 【生活・産業景観資源】

すぐれた、あるいは特徴的な景観を伴う都市、農村、漁村等の生活空間や、ダム、工業地帯等の産業空間。

#### 【観光・レクリエーション資源】

温泉、レジャーランド、博物展示施設等、非日常的な視点となりやすい施設地。

#### <その他景観を特徴づけるもの>

直接的、あるいは間接的に景観を構成すると考えられるものや、景域の持つ心象的イメージとして広く一般に認知されているもの。例えば気象、植生、民俗芸能、伝承、文学、絵画等。

## 【その他景観を特徴づけるもの】

### ■自然的なもの

- ・八甲田山の樹氷
- ・八甲田山の冠雪
- ・八甲田山の紅葉

### ■文化的なもの

- ・御飯屋を中心として築かれた旧青森市街
- ・歴史性豊かな青森市の旧町名
- ・日本海航路における油川、青森等の諸湊
- ・羽州街道、松前街道の要衝である油川
- ・奥州街道における津軽の玄関口である関所であった野内
- ・空の玄関である青森空港
- ・かつての青函連絡船の発着港
- ・赤く色づく青森市内のナナカマドの街路樹
- ・現代版のこみせである青森市内のアーケード街
- ・青森市の中心を流れる堤川と川沿いの花菖蒲
- ・古来から湯治場として栄えた八甲田温泉群
- ・山麓に広がるスキー場

- ・「合浦浜／松原添いの砂丘に／ふるさとの花／はまなすの花」（棟方志功）
- ・「船に酔ひていやさしくなれるいもうとの眼見ゆ津軽の海を思へば」（合浦公園歌碑、石川啄木）
- ・「青森の港の空のさびしさよ四方の山低く雪またも降る」（若山牧水）
- ・「水上の櫛ヶ峯早やも白雪みとらへし岩魚さびて細りぬ」（丹羽洋岳）
- ・「大工町寺町米町老母買う町あらずやつばめよ」（青森、寺山修司）
- ・「埋火にむかへど寒しふる雪のしたにうもれし人を思へば」（八甲田山麓陸軍墓地、明治天皇）
- ・「白雪をかかえて天に従えたまふわが魂の八甲田山」（諏訪神社歌碑、横山武夫）
- ・「ざらめ残雪一子のみある尻蒸かす」（酸ヶ湯温泉、磯貝碧蹄館）
- ・「喜雨くらき入江の神々も外ヶ浜」（青森市安方、角川源義）
- ・「鉄球の硬き青空の蒼リング」（青森、西東三鬼）
- ・「花莫産につつみてきし湯治の荷」（酸ヶ湯、高野素十）
- ・「連絡船出てゆくはまなすに織き雨」（合浦ヶ浜、山口青邨）

I



①青森市市街地中心街  
 <景観概要> 大規模なビルの建ち並ぶ県都としての中心街路の景観  
 <代表的な視点場> 市街地のメインストリート



②青森市市街地  
 <景観概要> 大規模な建築物の集積する市街地の景観  
 <代表的な視点場> 港湾一帯、市街地縁辺の水田地帯等



③港湾地帯  
 <景観概要> シンボリックな施設整備の進む港湾の景観  
 <代表的な視点場> 港湾一帯（特に公園等）

II



④青森平野の水田  
 <景観概要> 水平基調の水田が広がる青森平野の田園景観  
 <代表的な視点場> 水田地帯の道路



⑤平野に突出した都市施設  
 <景観概要> 田園地帯に進出する都市的施設の景観  
 <代表的な視点場> 市街地郊外



⑥平野を囲む山稜  
 <景観概要> 盆地状に平野を囲み、緑の背景となる起伏に富んだ山麓  
 <代表的な視点場> 市街地や水田地帯の幹線道路

# 3) 青 森 景 域

## ③ 景 観 特 性 写 真

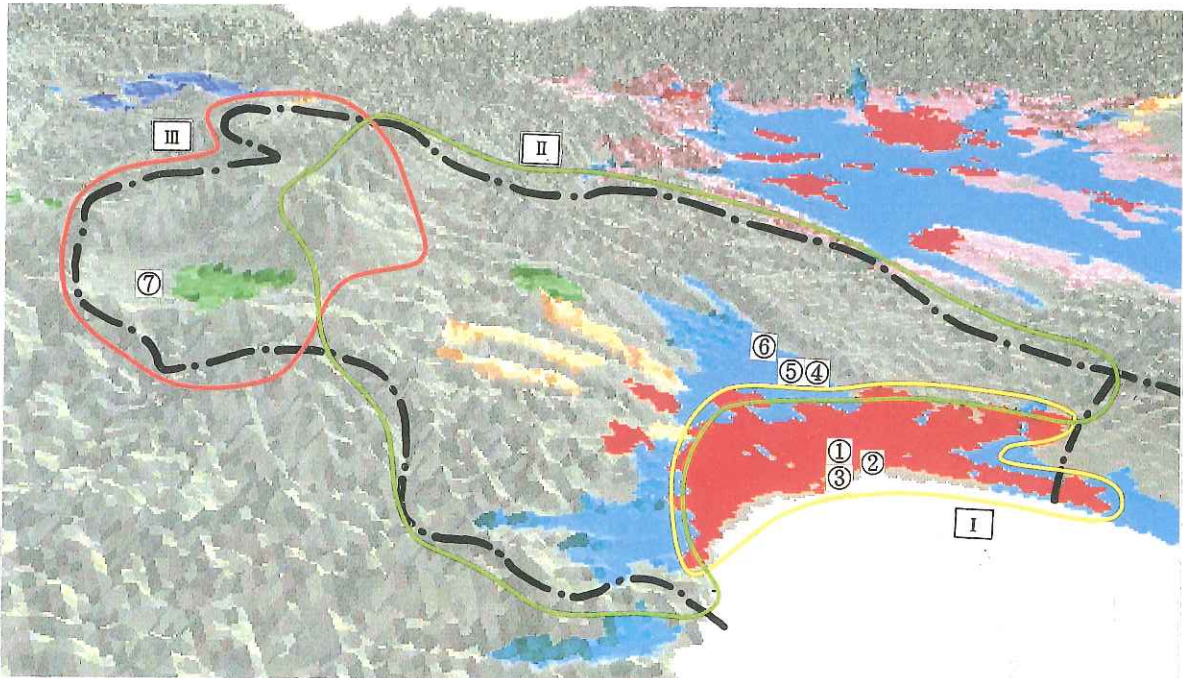
【凡例】

— — — 景地区分線

① 概略写真撮影位置及び番号

● パース上の表現

市街地	牧草地
水田	水系
畑地	樹林
果樹園	



III



⑦八甲田山系の山並み

< 景 観 概 要 > 雄大な火山をはじめとする豊かで多様な自然  
景観の展開する八甲田山一帯の景観

< 代表的な視点場 > 国道103号線等の沿道、八甲田山一帯の展望地点

### 3) 青 森 景 域

#### ④ 景 観 特 性 と 配 慮 事 項

##### ■ 景観概要

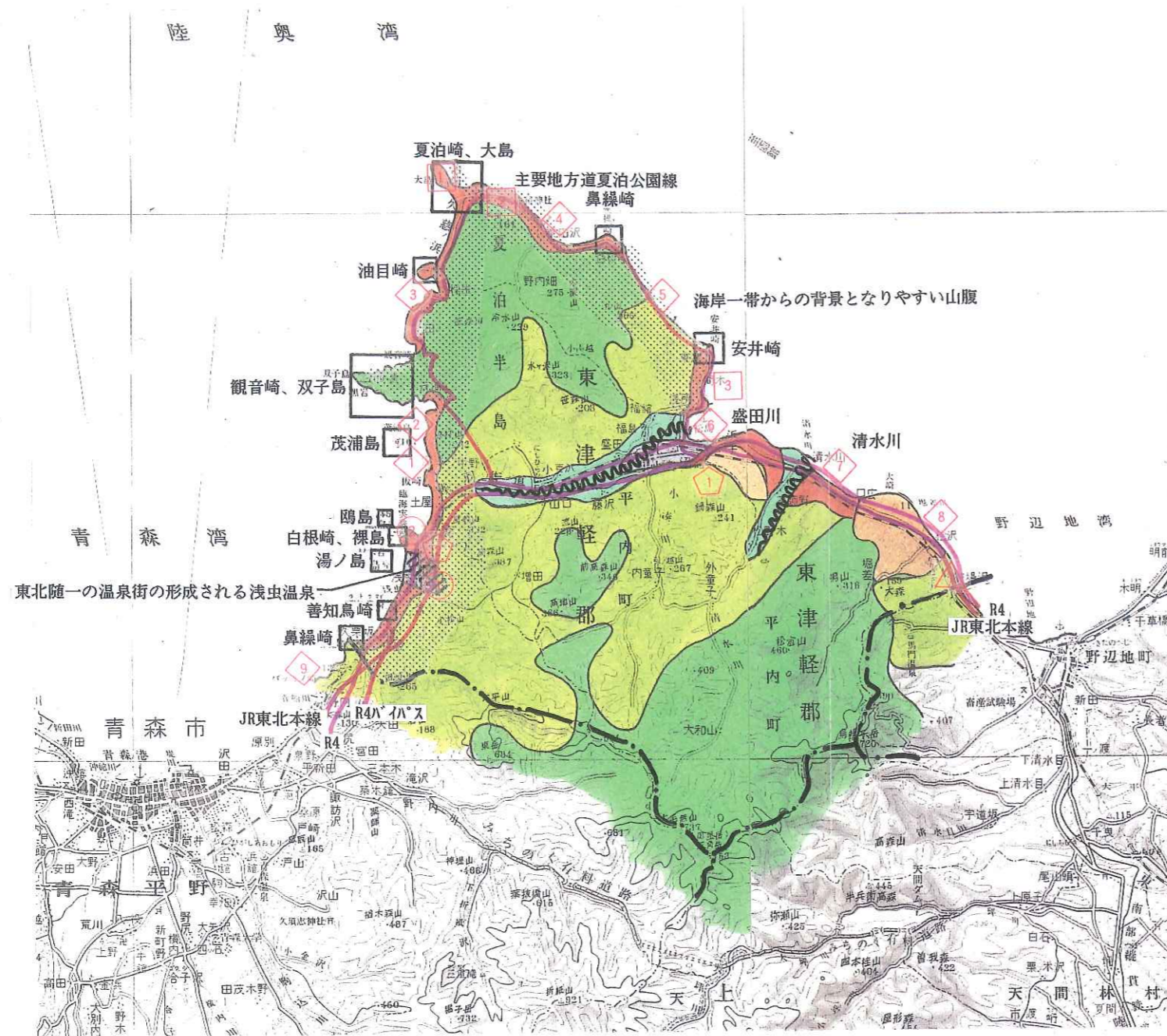
三方を雄大な八甲田山を中心とする山並みに囲まれ、北側に青森湾を抱く盆地状の平野に、市街地と田園が広がっている。

##### ■ 景観特性と景観形成上の配慮事項

景 観 特 性	景 観 形 成 上 の 配 慮 事 項
<p><b>I</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青森平野の青森湾に沿った一帯には、県都である青森市の市街地が展開し、多くのビルの建ち並ぶ港湾都市の景観が形成されている。 (→写真①、③)</li> <li>特に、港湾地区においては、アスパムやベイブリッジ等のシンボリックな建築物・工作物が建設され、市街地におけるランドマークとなっている。 (→写真②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市街の駅前や主要街路沿いにおいては、県都としての美しく調和のとれた特色のある街並みの形成を図りつつ、建築物のデザイン（高さ、形態、意匠、色彩等）や街路デザイン等に配慮する。特に港湾地区においては、シンボリックな建築物・工作物や公園等と調和するよう十分配慮する。</li> </ul>
<p><b>II</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>景域北側の一帯には、三方を山々に囲まれた盆地状の青森平野が広がり、水田の展開する水平基調の田園景観が形成されている。(→写真④)</li> <li>また、市街地に隣接した一帯においては、市街地の拡大に伴う都市的施設（住宅、商工団地）等の整備が進行し、旧来からの田園景観に対しての異なる要素となっている。(→写真⑤)</li> <li>平野の三方を囲む東岳、八甲田山地や大釈迦丘陵等の山々は、平野からの緑の背景として、さらにはスカイラインとして遠望される。 (→写真⑥)</li> <li>特に、その中でも、突出した山稜が幾重にも連なる八甲田山系は、平野からのランドマークとして遠望される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水田の展開する平野部においては、その水平基調の広がりのある景観を阻害しないよう、建築物・工作物の位置（主要道路からのセットバック）、規模（高さ）、色彩等に配慮する。</li> <li>また、市街地の拡大に伴う都市的施設の設置に際しては、水田や山林等、一帯の既存土地利用状況と景観的に調和のとれたものとなるよう、修景緑化の実施等にも十分配慮する。</li> <li>平野を囲む山地、丘陵においては、平野からの背景あるいはスカイラインとしての眺望を阻害しないよう、建築物・工作物の位置（稜線からのセットバック）、規模（高さ）、色彩等や大規模な造成等を伴う行為の位置に配慮する。</li> <li>また、山地・丘陵方向への眺望地点となりやすい平野一帯の主要道路沿道においては、その眺望を妨げないよう、建築物・工作物の位置（沿道からのセットバック）、規模（高さ）、意匠（広告物等付帯施設の最小化）、色彩等に配慮するとともに、街路樹の植栽等によるビスタの形成等の景観的演出にも配慮する。</li> </ul>
<p><b>III</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>景域南部一帯に広がる八甲田火山地は、雄大な裾野を伴う火山群をはじめ、高山植生、湿原、溪谷、高原等の優れた自然景観を豊富に内包する。 (→写真⑦)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十和田八幡平国立公園を中心とする多様性に富んだ自然景観を呈する八甲田山一帯においては、その自然性との調和に配慮する。特に主要眺望地点や国道103号線をはじめとする主要眺望ルートからの眺望を阻害しないよう、建築物・工作物の位置、規模（高さ、面積）、形態、色彩等、あるいは、大規模な造成等の位置に十分配慮する。</li> </ul>

# 4) 夏泊半島景域

## ① 景観特性図

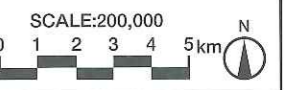
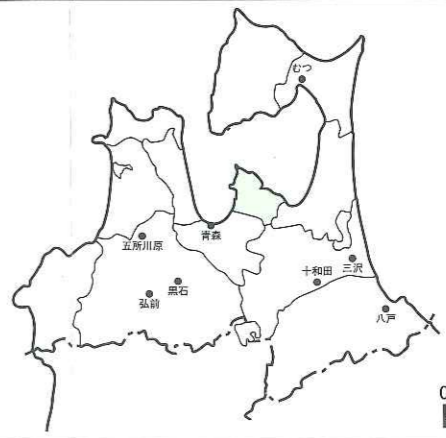


- 景域区分線
- 景観類型
- 山地景観
  - 低山景観
  - 台地開拓農村景観
  - 谷底平野農村景観
  - 市街地景観
  - 漁村景観

- 景観を特徴づける要素
- ランドマークとなる山岳 (孤峰)
  - ランドマークとなる山岳 (連峰・山群)
  - ランドマークとなる岬、島
  - スカイラインとなる支配線 (山稜・崖線・その他)
  - 背景となりやすい領域 (山腹等)
  - 明確な方向感を与える河川軸
  - 重要な視点場としての道路や鉄道
  - 面的なまとまりをもった個性ある領域

- 個別景観資源\*
- 眺望地点
  - 自然景観資源
  - 歴史・文化的資源
  - 生活・産業景観資源
  - 観光レクリエーション資源

\* 図中番号は「②景観配慮のための資源カタログ」に対応





## 4) 夏泊半島景域

### ② 景観配慮のための資源カタログ

#### 【個別景観資源】

##### ■眺望地点リスト (◇)

1. 夜越山展望台
2. 馬場山公園

##### ■自然景観資源リスト (□)

1. 大島・夏泊崎
2. 椿山の椿
3. 浅所海岸の白鳥

##### ■歴史・文化的資源リスト (△)

1. 藩境塚 (津軽南部の国境)

##### ■生活・産業景観資源リスト (◇)

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1. 浪打漁港  | 6. 小湊港・小湊漁港 |
| 2. 茂浦漁港  | 7. 清水川漁港    |
| 3. 稲生漁港  | 8. 狩場沢漁港    |
| 4. 東田沢漁港 | 9. 久栗坂漁港    |
| 5. 白砂漁港  |             |

##### ■観光・レクリエーション資源リスト (○)

1. 浅虫温泉
2. 浅虫水族館

- ・本景域での主要な景観資源のカタログを示す。
- ・各種行為を行う際には、以下に示す資源等を損傷したり、その印象を著しく損なったりすることのないよう配慮することが必要である。
- ・またこれらの特質を景観の形成テーマや素材、モチーフとして活かしていくことが望まれる。
- ・この資源カタログは、その際の景観保全・活用上配慮すべき、主要な対象を示したものである。
- ・なお、ここで扱う内容は以下の通り。

#### <個別景観資源> \*

景域内において広く一般に認知される景観資源について、以下の種別に区分し、記載している。なお、リストの番号は「①景観特性図」上のもので対応している。

\*：「'92青森県観光要覧」（青森県）に特記されているものを中心に抽出した。

#### [眺望地点]

主に眺望を得ることを目的として整備されたいわゆる展望台等の施設。

#### [自然景観資源]

地形、水象、植物等の自然物によって構成されたすぐれた資源性を有する景観。

#### [歴史・文化的資源]

歴史的な建造物や史跡、あるいは祭事等の人間の歴史的、文化的活動によって生み出された有形・無形の景観。

#### [生活・産業景観資源]

すぐれた、あるいは特徴的な景観を伴う都市、農村、漁村等の生活空間や、ダム、工業地帯等の産業空間。

#### [観光・レクリエーション資源]

温泉、レジャーランド、博物展示施設等、非日常的な視点となりやすい施設地。

#### <その他景観を特徴づけるもの>

直接的、あるいは間接的に景観を構成すると考えられるものや、景域の持つ心象的イメージとして広く一般に認知されているもの。例えば気象、植生、民俗芸能、伝承、文学、絵画等。

#### 【その他景観を特徴づけるもの】

##### ■自然的なもの

- ・ヤブツバキの自生北限
- ・豊かな海岸植生
- ・海岸部に多い松林
- ・浅所海岸の干潟とハクチョウ

##### ■文化的なもの

- ・津軽、南部の国境
- ・平安時代からの歴史を持つ海の温泉郷である浅虫温泉
- ・平内町一帯の J R 東北本線沿線の吹雪防止林
- ・海岸に並ぶ長屋風の船小屋
- ・陸奥湾沿岸の栽培漁業
- ・夏泊半島一帯での海釣り等の海洋レクリエーション
- ・「浅虫の海の渚にしらじらと茶碗のかげらひかる初秋」(浅虫、竹久夢二)
- ・「屋根石の家に咳秋の風」(浅虫温泉、秋元不死男)
- ・「秋風や岬の果てに鮫飼はれ」(浅虫、安住敦)
- ・「鱈汁を祝ふ鍛冶屋祭かな」
- ・「浦人や鯨の油幾日汲む」(以上浅虫、河東碧梧桐)

I



①背景の山地と一体となった海岸  
 < 景観概要 > 間近に迫り、背景をなすゆるやかな山地と一体となった風光明媚な海岸景観  
 < 代表的な視点場 > 海岸沿いの県道等



②海岸に迫る山並み  
 < 景観概要 > 山地内部との視覚的連続性を遮断する、海岸付近に迫る山地の景観  
 < 代表的な視点場 > 海岸沿いの県道等



③海に突出した岬、島  
 < 景観概要 > 連続して出現し、ランドマークとなる海に突出した緑に被われた岬の景観  
 < 代表的な視点場 > 海岸沿いの道路や展望地点



④漁村集落  
 < 景観概要 > 背景となる緑深い山地やおだやかな入江と調和した漁村集落の景観  
 < 代表的な視点場 > 海岸沿いの県道等

II



⑤台地の背景となる変化に富んだ山稜線  
 < 景観概要 > 海岸段丘に広がる水平基調の田園と背景をなす起伏と奥行き感に富んだ山稜の景観  
 < 代表的な視点場 > 台地上を通過する国道、鉄道

III



⑥浅虫温泉  
 < 景観概要 > 近代的なホテル群の建ち並ぶ浅虫温泉の景観  
 < 代表的な視点場 > 浅虫温泉一帯



# 4) 夏泊半島景域

## ③ 景観特性写真

【凡例】



景地区分線



概略写真撮影位置及び番号

●パース上の表現



市街地



牧草地



水田



水系



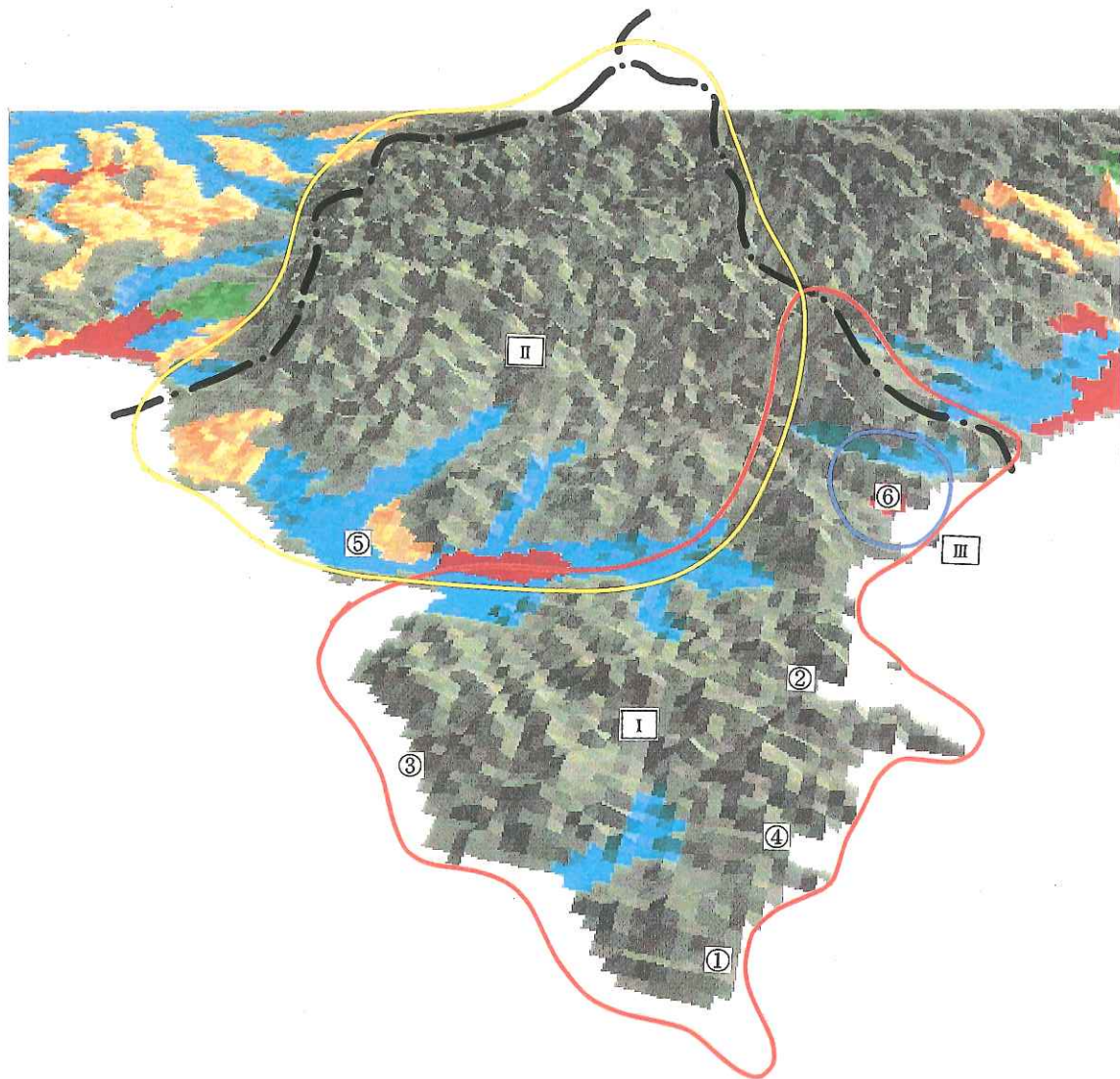
畑地



樹林



果樹園



## 4) 夏 泊 半 島 景 域

### ④ 景 観 特 性 と 配 慮 事 項

#### ■ 景観概要

景域の大部分を山地（夏泊、東岳・八幡岳山地）が占める。このうち、陸奥湾に突出した夏泊山地は海岸部まで連続し、夏泊半島を形成するとともに、多くの岬や小島、のどかな漁村等の点在する変化に富んだ風光明媚な海岸景観を形成している。

#### ■ 景観特性と景観形成上の配慮事項

景 観 特 性	景 観 形 成 上 の 配 慮 事 項
<p><b>I</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景域北部の夏泊半島の周囲に連なる海岸線は、後背する山地と一体となった垂直、水平ともに変化に富んだ自然性の高い景観が展開する。（→写真①）</li> <li>・なお、山地内部が視認されることは少ない。（→写真②）</li> <li>・半島西側を中心に分布するおだやかな入江から連続する多くの岬や、岬の先端の小島は、繰り返し出現するランドマークとして重要である。（→写真③）</li> <li>・また、海岸と併走する主要地方道夏泊公園線は、これらの景観の連続した視点場として重要である。</li> <li>・海岸沿いの小規模な入江には、高密、低層な家屋で構成された漁村集落が立地し、周囲の海岸や後背する山林と調和した良好な集落景観が形成されている。（→写真④）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浅虫夏泊半島県立自然公園を中心とする特徴的な海岸景観を呈する海岸部においては、その高い自然性との調和に配慮するとともに、主要眺望地点、ルートからの眺望を阻害しないよう、建築物・工作物の位置（眺望地点や沿道やスカイラインからのセットバック）、規模（高さ、面積）、色彩等に配慮する。また、背景となりやすい山腹における大規模な造成等についても、周辺の地形状況を勘案の上、その位置、規模等を決定するよう配慮する。</li> <li>・特にランドマークとなる岬一帯や諸島においては、その形状や後背の山林との連続性を阻害しないよう、建築物・工作物の形態（スカイライン形状との調和）にも十分配慮する。</li> <li>・漁村集落においては、その小規模な広がりや集落形態、背景をなす山腹と調和するよう、建築物・工作物の規模（高さ、面積）、色彩等に配慮する。</li> </ul>
<p><b>II</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景域南東部に点在する小規模な台地には、奥行き感と起伏に富み低く連なる東岳、八幡岳山地を背景とした広がりある水平基調の畑地が展開する。また、台地を通過するJR東北本線沿線に連なる鉄道林も、水平基調の景観を形成する要素となっている。（→写真⑤）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の広がる台地上においては、その緑の多い水平基調の景観を阻害しないよう、建築物・工作物の規模（高さ）、色彩、外周の修景植栽等に配慮する。また、背景となる山腹における大規模な開発行為についても、位置（山稜線からのセットバック）、規模（面積の最小化、分散化）等に配慮する。</li> </ul>
<p><b>III</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景域西部に立地する浅虫温泉は、古くからの温泉街と近代的なホテル群とが混在する東北随一の海浜温泉保養地の景観が形成されている。ただし、海岸部に国道4号線が通過し、海岸と内陸との景観的な連続性は少ない。（→写真⑥）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浅虫温泉一帯においては、新旧温泉街の景観的な融和、あるいは温泉街と海岸部との景観的連続性の回復等により、海浜保養地としての景観的な演出に配慮する。</li> </ul>

# 5) 津軽平野北部景域

## ① 景観特性図

- 景観特性図の凡例
- 景域区分線
  - 景観類型
    - 山地景観
    - 低山景観
    - 山麓果樹園景観
    - 低地農村景観（水田・果樹園混在型）
    - 低地農村景観（水田型）
    - 低地湖沼景観
    - 市街地景観
    - 海岸砂丘景観

### ■景観を特徴づける要素

- ランドマークとなる山岳（孤峰）
- ランドマークとなる山岳（連峰・山群）
- ランドマークとなる岬、島
- スカイラインとなる支配線（山稜・崖線・その他）
- 背景となりやすい領域（山腹等）
- 明確な方向感を与える河川軸
- 重要な視点場としての道路や鉄道
- 面的なまとまりをもった個性ある領域

### ■個別景観資源\*

- 眺望地点
- 自然景観資源
- 歴史・文化的資源
- 生活・産業景観資源
- 観光レクリエーション資源

\* 図中番号は「②景観配慮のための資源カタログ」に対応

